

LIXIL 特殊加工化粧床材(捨て張り工法) 床暖房対応タイプ



施工上のお願い

弊社指定の施工方法外で発生した不具合は、全て免責となります。

動画で施工
方法を確認
できます。



95185093001

不具合の原因となりますので、下記事項をお守りください!

- 本製品は、一般住宅屋内用です。
()の場所では使用できません。(頻繁に水ぬれする場所、極端に湿度の高い場所)
- 本製品は木造合板捨て貼り下地専用です。
()への直接施工はできません。(根太組み、コンクリート下地)
- 二重床下地の場合は、二重床メーカーの注意事項を守って施工してください。

開梱は施工直前に!

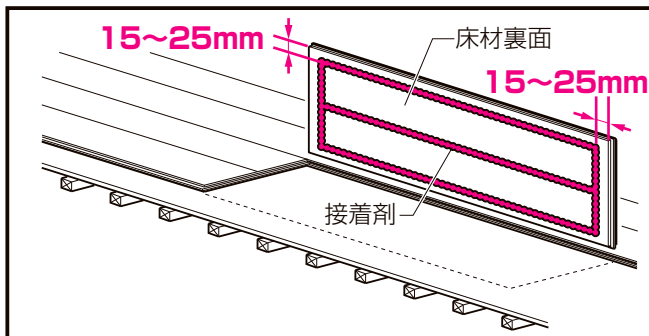
- 湿度の影響を受けにくい梱包になっています。
水ぬれすると、ソリ、曲がりの原因になります。

濡れた下地に施工しない!

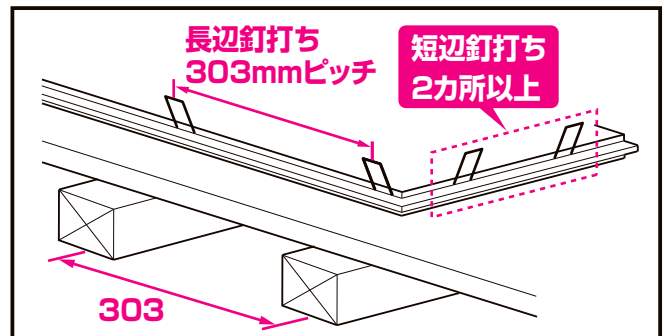
- 下地合板の含水率は**14%以下**のものを使用してください。
水分が床材に移行して、波打ちやフクレの原因になります。
- ※下地が水ぬれした場合は、含水率を**14%以下**にしてください。

一般施工時

接着剤 塗布箇所

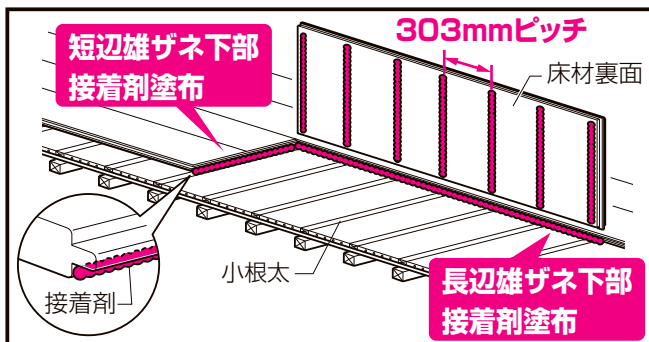


釘固定箇所

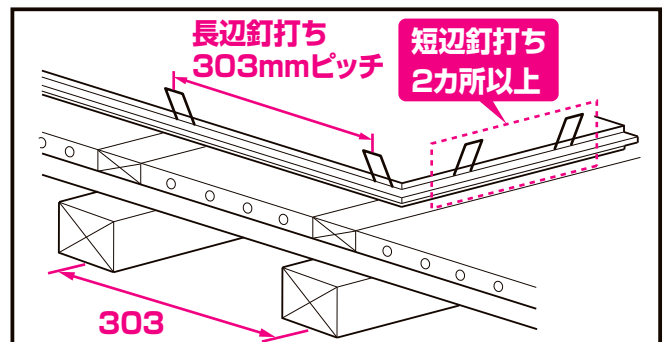


床暖房施工時

接着剤 塗布箇所



釘固定箇所

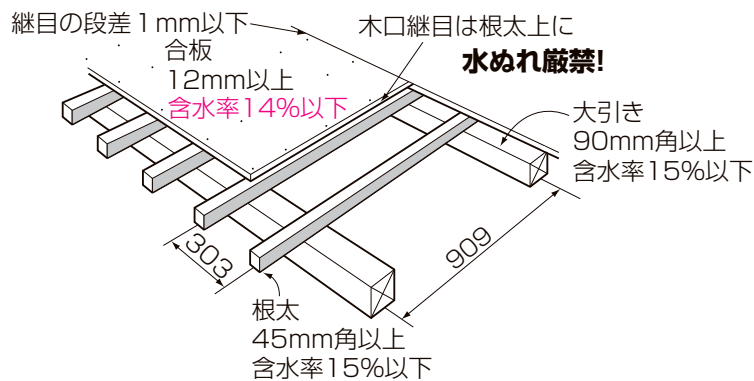


施工前のお願い

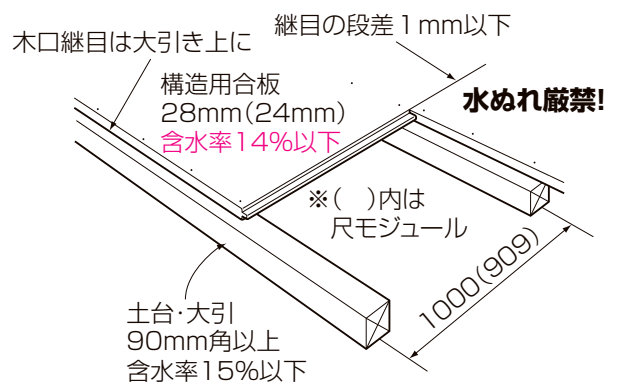
- 施工前に必ず検品してください。
製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い上げ店までご連絡ください。
施工後の色調不具合・キズなどによる交換は、お受けできません。
 - 直射日光のあたる場所に置かないでください。
ソリ、ねじれなどの原因になります。
 - コンクリート下地に床下地組み（乾式二重床など）をする場合は、含水率を10%以下に乾燥させてください。
乾燥の目安：ポリシートで密閉し24時間以上放置後、コンクリート面が変色していない状態。
乾燥が十分でないと、床材のフクレ、突上げ、裏面のカビの原因になります。
- ※ 床下に暖房システム（コンクリート埋設型など）を組み込む際は特にご注意ください。

■ 下地は下記の通りとし、接着剤を塗布し、ねじ等で固定してください。

< 在来工法の場合 >

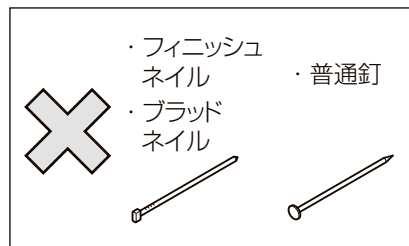
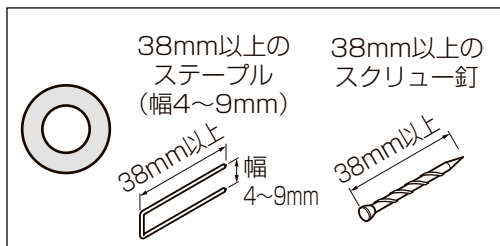


< 根太レス工法の場合 >



- 床材の固定には指定の釘と接着剤を併用してください。
指定以外のものを使用すると、固定強度の低下の原因になります。

接着剤は以下のものをご使用ください。

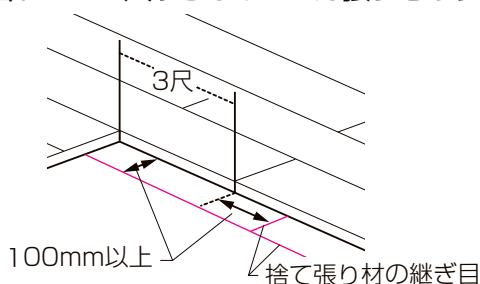


接着剤	品番	使用量の目安
LIXIL専用ウレタン接着剤	LZZZZ036	1.5坪 / 本
コニシ製接着剤	KU928-CX	1.5坪 / 本

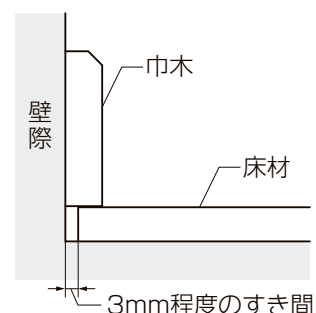
- 床材切断の際は、欠け、めくれの発生にご注意ください。
※ よく切れる刃物を使用してください。
※ 斜め（鋭角）に切断する場合は、特にご注意ください。

施工の手順

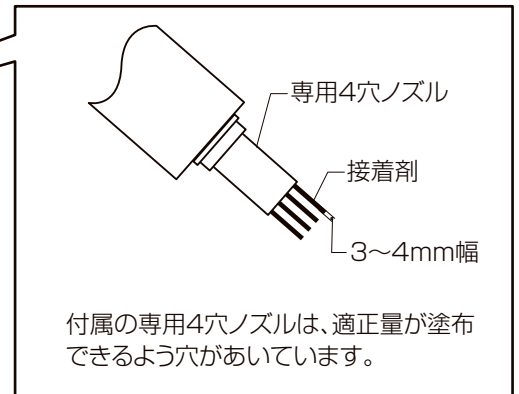
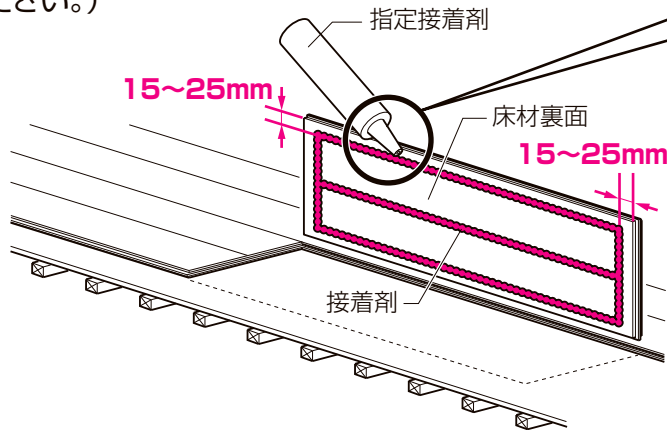
- 床材と捨て張り材の継ぎ目は、縦・横とも100mm以上ずらしてください。
張合わせは3尺ずらしのレンガ張りをおすすめします。



- 壁際は、床材が伸縮するので3mm程度のすき間をあけてください。



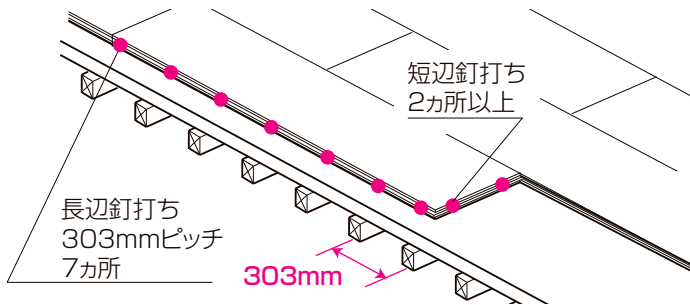
- ①指定接着剤を塗布してください。
 (床暖房施工時は「床暖房用仕上げ材として使用する場合」を
 ご覧ください。)



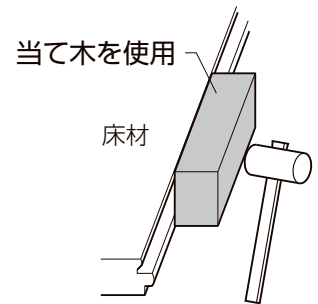
付属の専用4穴ノズルは、適量が塗布
 できるよう穴があいています。
 専用ノズルでない場合
 ノズル穴径8mm程度にカット

- 接着剤がはみ出た場合は、すぐに石油ベンジンを布にしみ込ませてふき取ってください。

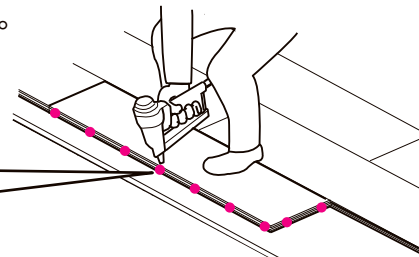
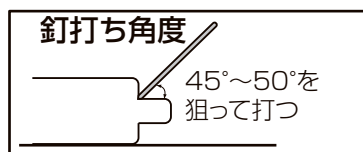
- ②釘打ちは、根太位置を狙って、打ち込んでください。
 (根太レス工法の場合303mmピッチ)



**床材はめ込みの際は
 叩き込みすぎないように！**

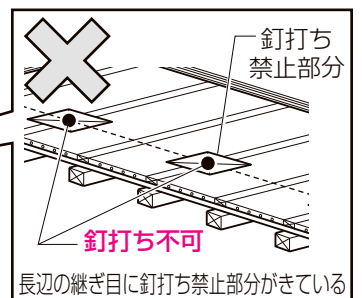
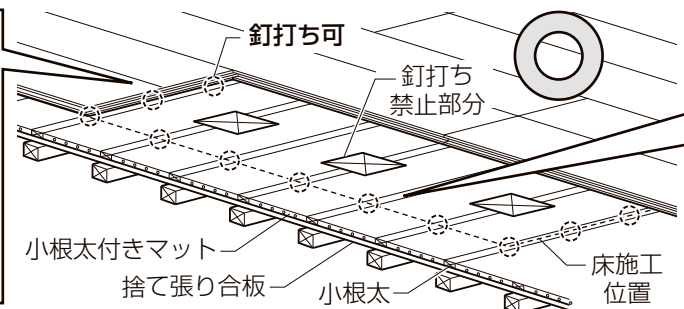
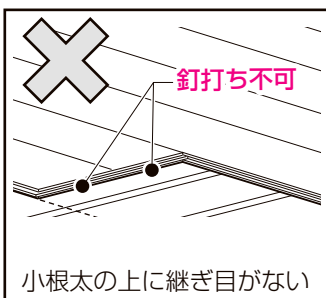


- 釘打ち機を使用する場合は、あらかじめ試し打ちなどでトルク調整を行ってください。
- 釘打ちの際は、床材の上に乗って下地に密着させてください。

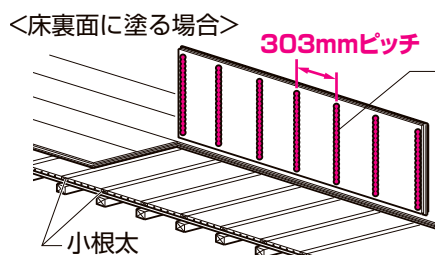


床暖房用仕上げ材として使用する場合

- ①床材の継ぎ目（短辺方向）は必ず小根太にくるように寸法出しをしてください。
 また、釘打ち禁止部分に床材の継ぎ目がこないように、あらかじめ割り付けしてください。
 ※小根太の間隔は1尺（303mm）が基本となります。

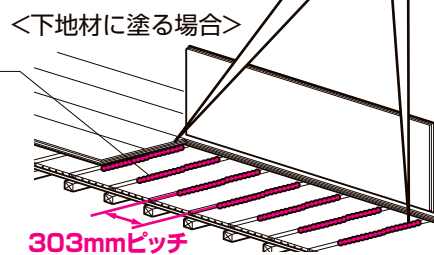


②指定接着剤を塗布してください。



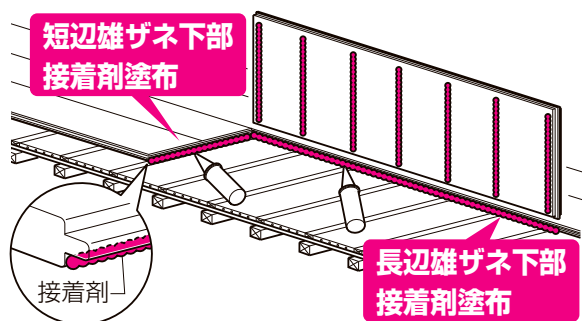
指定接着剤
付属の専用4穴ノズルを使用すると、
適正量が塗布されます。
※専用ノズルでない場合
ノズル穴径8mm程度にカット

※専用ノズルでない場合
短辺部は両側の床に付くように
接着剤を2本塗布してください。

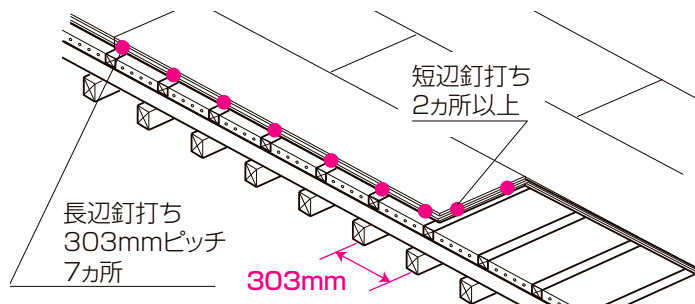


③指定接着剤を長辺と短辺方向の雄ザネの下部に塗布してください。

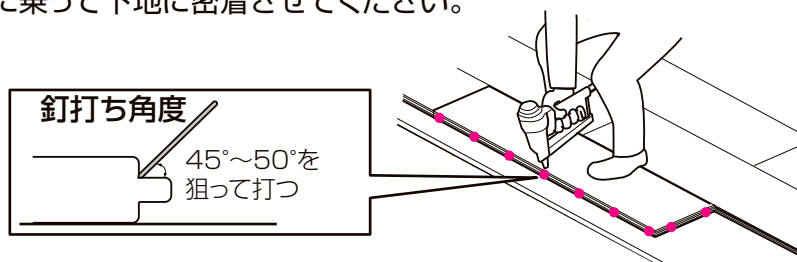
※指定接着剤円すいノズルをご使用いただくと、
塗布しやすくなります。
(ノズル穴径4mm程度にカット)



④床材は短辺方向、長辺方向に釘を打って小根太に固定してください。



●釘打ちの際は、床材の上に乗って下地に密着させてください。



施工後のお願い

- 床の保護のため、全てのゴミを取除き、すき間なく養生してください。
床材を傷めるので必ず専用の養生テープをご使用ください。 専用養生テープ:LZZZZ004
- 雨吹込みで濡れると、フクレ・ソリ・変色となるので濡れないようにしてください。
- 汚れは、固く絞った濡れぞうきんでふいてから、乾いた布でふいてください。
- 床表面に汚れ付着防止処理を施していますので、ワックスがけは必要ありません。
- お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、指定ワックスをご使用ください。
指定ワックス:リンレイ社「ハイテクフローリングコート」
- ワックスがけをされますと、床表面の性能を損なう場合があります。
- ワックスをかける場合は、フクレ・突上げとなるので、まき塗りをしないでください。
- ワックスはくり剤および溶剤は、床材を傷めるので使用しないでください。
- 現場判断で対応した結果、生じた不具合は全て免責となります。
(指定ワックス以外のコーティング処理も含む)